



図書館フェスティバル2025



「秋の読書週間」にちなみ、10月25日（土）から11月1日（土）に図書館フェスティバルを開催します。

▶特別おはなし会

読み聞かせボランティアが上演する、むかし話や大型絵本などのさまざまな「おはなし」をお楽しみください。作って持ち帰る、本にちなんだ小さなおみやげも。

時 10月25日（土）午後2時～2時40分

対 3歳から **料** 無料

※事前申込み不要

※参加者は、子育て支援センター駐車場が利用できます。

▶この本知ってる？

配架場所のせいなのか？面白いのに貸出回数が少ない本の中から、図書館職員のおすすめを展示・貸し出しします。見逃していた本があるかも…！

時 10月26日（日）～11月1日（土）

▶古本リユース市

皆さんから不要になった本を集め、無料で配布します。※他の方に譲っても良い本をお持ちの方は、10月19日（日）までに町民図書館へご持参ください。

時 10月26日（日）～11月1日（土）

▶秋のとしょかん福袋

図書館おすすめの本を2～3冊程度、袋詰めにして貸出します。袋に書いてあるヒントを頼りに、とにかく借りて読んでみよう！何が入っているかは開けてからの楽しみ。これがきっかけで新たなお気に入りができるかも！



昨年のような

時 10月26日（日）～11月1日（土）

問 三春町民図書館 ☎0247-62-3375

れきみんコラム

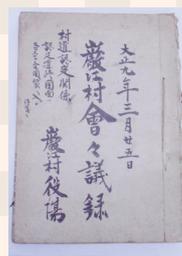
町村合併あれこれ 岩江村

なにげなく「岩江村」としていますが、昭和33年に書かれた『岩江村の全貌』という本には、「巖江村」が正式な名称とあります。明治22年に十二村（山田・上舞木・下舞木・白岩・下白岩・芹沢・根木屋・安原・阿久津・横川・南小泉・北小泉）が合併すると、岩石を産する土地であり、大河のある村であることから村名をつける、となり、後に小泉村の初代村長となる後藤隆作が「巖作山妙音寺（堂坂にあった寺）」の巖を」と意見して「巖江村」になったと書かれています。三春町史にこうした話は見当たらないので、貴重な記録です。

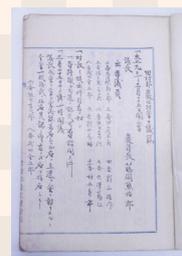
実は、岩江村は明治期の旧役場文書が最も少なく、ないと言っても過言ではないほどです。昭和分はいくらかあるのですが、他の村と違って、明治27年に北小泉・南小泉の二村が分立して小泉村になるなど、複雑な成立過程をたどっているため、このような状況になったと思われます。福

島県の報告では、田村郡でも一・二を争う大村、となっており、確かに合併後の県のデータでは195戸1232人だった人口が、昭和30年には838戸5918人と、屈指の伸びとなっています。また当時は安原や阿久津など阿武隈川に面した村々があったため、舟運からくる収入もあり、村の資力は十分だったのでしょう。

しかし、福島県の報告はだいぶ難しい事態を伝えており、「大村にして旧十二ヶ村の合併なるを以て民意自ら一致する能（あたわ）ず」と、村の議会運営に困難を生じていることが記されています。岩江村の歴代の指導者は公平性を失わず、難しい状況に対処していたようです。



①大正9年3月25日巖江村会会議録



②第5代村長藤岡熊治郎の名が見える

広告欄

広告欄